

水を冷やしたときと同じように、温度計で水の温度の変わり方を調べればよいと思います。

それならば、結果を折れ線グラフに表すと、温度の変わり方がわかりやすいね。

水を冷やしたときのけいげんをもとに、考えることができますね。

やかんでは、中の水の様子がわからないけれど、ピーカーを使えば、水の様子も観察しやすいね。

実験用ガスこんろを使えば、水を熱することができるよ。

ふりまろう
予想をたしかめるための方法を考えることができたでしょうか。

実験2

水を熱したときの温度の変わり方と水の様子を調べましょう。

- 1 実験そう置を用意する。
 - 右ページの図を見て、組み立てる。
- 2 水を熱して、水の温度とようすを調べる。
 - 水の温度を1分ごとに記録する。
 - 水の様子をよく観察して、気づいたことがあれば記録する。
 - 結果は、実験1と同じように、表に整理する。



ほう温度計の液のため、ピーカーの底につかないようにする。

ふっとう石

調べ方のくふう
ピーカーのかわりに、丸底フラスコを使ってもよい。

実験用ガスこんろのかわりに、アルコールランプを使ってもよい。

スタンド

ほう温度計

アルミニウムはく

ピーカー

ふっとう石

金あみ

熱する前に、水面の位置に印をつける。

ほごめがねをつけて、調べる。

まけん
加熱器具は、200～201ページを見て、正しく使う。
熱い湯がふき出すのをふせぐため、水にふっとう石を2～3こ入れる。
実験が終わったら、すぐに火を消す。
火を消しても、加熱器具やピーカーなどは熱くなっているの、しばらくは、さわらない。

用意する物
 ピーカー
 ふっとう石
 温度計
 アルミニウムはく
 加熱器具
 スタンド
 金あみ
 ほごめがね

水の温度(℃)	水の様子
15	
21	





















